



相ノ木っ子だより



令和4年度
10月号
上市町立
相ノ木小学校

言葉・文字から広がる人間性

4月に6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果から見てきた本校児童の傾向についてお話しします。まず、各教科（国語、算数、理科）の学力調査ですが、全体的に無答が少なく、一生懸命学びに取り組もうとする主体性が感じられます。また、文章や資料の読み取り、数や図形に関する知識・技能、実験や観察での科学的な見方等、相ノ木っ子のよさがたくさんありました。ただ、自分の考えを言葉にして説明したり、その根拠を文章に表したりすることに課題が見られます。原因と結果、意見と根拠等を捉えながら文章を読んだり書いたりする学習、資料等を総合的に結び付けたりノートに整理したりしながら自分の考えを明確にする活動、具体物や図等を用いて多様に表現したり友達と確認したりして説明力を身に付けさせる授業等を工夫しながら推進していきたいと考えます。

次に、質問紙による学習状況調査については、「毎日朝食をとっている」「同じ時刻に就寝・起床している」など、基本的な生活習慣を身に付けている子供が多いです。また、「学校に行くのが楽しい」「友達と協力するのが楽しい」「困り事があると先生に相談できる」と答える子供が多く、安心して学校生活を送っている様子が伺えます。そして、「自分によいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「人の役に立つ人間になりたい」と、自己肯定感を得て未来への前向きな思いを抱いている子供が多いこともうれしい限りです。ただ課題としては、「新聞を読んでいる」「読書が好きである」「自然の中で遊ぶことがある」と答える子供が少ないこと、そして、家庭学習や家庭での読書に取り組む時間が少なく、テレビゲームやスマートフォンを使ったSNSや動画視聴をする時間が長いことが挙げられます。子供たちにとってのゲームや動画の楽しさはよく分かりますし、気分転換にもなるのですが、興味のあることへの自主学習、活字に触れる機会、体験的な遊び等にもう少し時間をかけることが必要だと思います。そういった生活を目指すことが、きっと学力調査における課題の解消にもつながっていくことでしょう。

言葉は意味の容れ物である。

そして意味は言葉によって表現されてこそ思考の材料となる。

その意味において「適切な言語化」は思考そのものであり、

論理的思考を成立せしめるための最も基本的なコアスキルなのである。



これは、経済評論家の波頭亮さんの言葉です。人は、いろいろな体験を通して、様々な思いをもつことができます。そして、それらを言葉や文字に表すことで、自分にとって意味のあるものにし、思考として蓄積していきます。主体的な学びや体を使った遊びは、子供たちに新たな心象を数多くもたせてくれることでしょう。そして、そういった心情や思いを言葉や文字にする経験を積み重ねることで、子供たちは論理的な思考を構築させていくことができるはずです。もちろん文字に対して困難を抱く子もいますし、言葉で伝えることが苦手な子もいます。ですが、想像力を広げる本との出会いや、思いを相手に伝える喜びを感じる機会を支援し、子供たちに少しでも読書のおもしろさや言葉によるやり取りの楽しさを味わってもらいたいと思います。

また、イギリスの哲学者フランシス・ベーコンは、次のように言っています。

読書は充実した人間をつくり、

会話は機転の利く人間をつくり、

執筆は緻密な人間をつくる。



ぜひ相ノ木っ子には、文字や言葉と触れ合う機会を少しずつ増やし、自分の人間性を広げてほしいものです。



五感で味わう秋という季節



何度も延期となり、皆さんに苦勞をおかけしましたが、穏やかな天候の下、今月9日盛大に秋季大運動会を行うことができました。仕切り直しや交互に訪れる暑さ・寒さといった状況にあって、力を合わせて一生懸命練習してきた子供たち。その成果を十二分に発揮し、一人一人が活躍した運動会になったと思います。特に、親子の絆と和やかな雰囲気が滲み出ていた親子競技、意地のぶつかり合いと熱き戦いを見せた騎馬戦や全力バトル等、3年ぶりに復活した種目が休日での一日開催のよさを感じさせてくれました。あいにく終盤に雨が降り出しましたが、子供たちは最後まで力を尽くしてがんばっていましたし、保護者の皆さんはテント等の片付けを一生懸命してくださいました。相ノ木っ子、ご家族、みんなの絆を強くできた一日であったことが何よりうれしいです。

さて、運動会に至る日々を振り返ってみますと、学校周辺でいろいろな秋を感じてきたように思います。まだまだ夏の暑さが残る秋、もう初冬かと思うような肌寒い秋、季節の変わり目とそれに応じた過ごし方を体で感じました。中庭に出ると、キンモクセイの香りがプーンと漂ってきます。空を見上げると無数の赤とんぼが飛び、足元では元気なバッタが跳びはねています。木々から落ちる葉のカラッという音や落ち葉を踏んだ時のシャリッという音。給食に出てくる地産地消の秋の食材。子供たちは、秋という季節を五感で味わっています。

アメリカの小説家シボーン・ビビアンは、次のように言っています。

秋の色は面白い。

とても鮮やかで、強烈で、美しい。



本当にそうですね。紅葉が見せる赤や黄のコントラストは、わたしたちの視覚に強烈なインパクトを与えてくれますし、思わず「美しい」とつぶやいてしまいます。学校の周りの秋の色でも秀逸なのは、ハナミズキの紅葉です。多少くすんだ色合いではありますが、赤や黄の鮮やかさをわたしたちに見せてくれます。またその葉の間から鈴なりになっている実も、強烈な赤を演出してくれて、本当にきれいです。

「〇〇の秋」とよく表現されますが、秋という季節は人の意識にいろいろな刺激を与えてくれる季節なのでしょう。スポーツの秋、読書の秋、実りの秋、食欲の秋・・・、今年もいろいろな秋を子供たちは体験しています。

秋が過ぎ、人は尊敬を思い出す。

これは、オノ・ヨーコさんの言葉です。いろいろな秋がありますが、「尊敬の秋」というのは初耳です。しかし、生物の大きな成長や子孫を残そうとする姿、葉を落とし次の世代へとつなげようとしている様子を見ると、生命そのものや生命のつながりを見つめる季節なのだと感じます。相ノ木っ子には、秋という季節を五感で味わい、その中にいる自分を見つめてもらいたいと思います。

行事予定(10月中旬～11月中旬)

10月17日(月) 研修会のため
下校 1・3・4・6年 13:20
2・5年 14:50

19日(水) 保育園訪問(5年)
21日(金) 学習参観・学校保健委員会
親子下校 15:30

27日(木) 5年ふるさと学習

10月28日(金) 就学時健康診断
下校 1・2・3・4・6年 12:10
5年 15:00

11月 1日(火) 研修会のため 下校 13:55
3日(木) (祝)文化の日

9日(水) 研修会のため 下校 12:20

